

【回答】東峰村BRT駅周辺整備計画基本構想（素案）に係るパブリックコメントに関する結果公表

居住地	該当	意見	対応方針
上福井	p19	B-1 ホームへのアクセスについて 階段への手すり設置検討はありがたいです。 追加として階段の整備①一段一段の高さ（現状では高すぎます）②歩きやすい面（一段一段同じにしてほしい）	ご意見いただきありがとうございます。 階段の高さについては人によって丁度良いと感じる高さが違うことや、現状ではホームまでの高低差が大きく、一段一段の高さを低くすると真っすぐに上がることができなくなる可能性が高いことから整備は難しいと考えています。 また階段そのものはJR所有の施設であるため、整備についてはJRと協議を行う必要があります。
竹	全体	意見をできる立場にありませんが是非意見具申致したく稚拙ではありますが申し上げます。お許してください。駅周辺の整備からかけ離れた意見となりますが、もしBRT計画そのものを見直すことが出来たならば筑前岩屋～宝珠山間を一般道に降ろして民家近くを走らせて利用しやすくし、経由地も竹交流館や役場前、可能ならば小石原庁舎前などを經由させバス停をたくさん設置する事により村民が生活道路から乗り降りしやすくしてあげることが一番良かったのではないかと思います。線路跡は観光資源としてJRより継承し、遊歩道、サイクリングロード、災害時の緊急迂回路、岩屋湧水の広域への導水路として活用し、アーチ橋3基には両側に階段とスロープを作り駐車場を整備し展望台として観光資源としたり（真ん中に面影を壊さない程度にせり出しを作るなど）。そしてマラソン大会や自転車ロードレース。バイクレースなどを誘致し、高校や大学の合宿を宝珠山小学校校舎を宿舎として活用し、誘致する。宝珠山小学校校舎をデータセンターや植物工場、養殖場、企業の開発拠点を誘致するなどして体育館やジムを整備し遊歩道をランニングコースとするなどして活用を提案するなど。問題はアーチ橋の保守費用と遊歩道の保守費用が掛かる点でしょうか？また福岡市のベットタウンとして竹交流館を始発として飯塚駅まで路線バスを運行し、移住者を呼び寄せたりスローライフをしつつ福岡都市圏に稼ぎに出かける生活スタイルを提案してはいかかでしょうか？またBRTが村内では一般道になれば211号線との立体交差も線形改良、拡幅工事、高さの改良工事でも着手する事が可能ではないでしょうか？支離滅裂な意見ではありますが村の発展を祈念いたしまして意見をさせていただきました。申し訳ございませんでした。	ご意見いただきありがとうございます。 BRT計画そのものについては、現時点での見直しは難しく、線路跡についても一般の道路とは扱いが異なるため、人の立ち入りは原則できないこととなっております。 しかしイベントや小学校校舎の活用、スローライフのご提案など今後の村での取り組みとして参考にさせていただければと思います。
大行司		★下記の変更を提案致します。ご検討をお願いします。 ★大行司商店街は、ほとんどの店が閉店しています。また、近い内に閉店が予想される店も多く、後継者もいないので、「商店街」の表現は適切でないと考えました。これからも存続するのは、味噌醸造所と造り酒屋と思います。	ご意見いただきありがとうございます。 下記にそれぞれのご指摘についての対応方針を記載させていただきます。 商店街につきましては、ご指摘の通り「街」と言えるほどの店舗数がない状況であることは承知しておりますが、長期的には、既存商店の維持や、店舗の誘致などに取り組み活性化できればと思っております。そのため味噌醸造所と造り酒屋に限定せず商店街→商店等もしくは既存商店等とさせていただきますと思います。その他個別のご指摘に関しましては、上記の方針に即して可能な限り修正しております。また既存施設の「東峰村立」の記載については正式名称を記載しておりますので、このまま残させていただきたいと思っております。
	P11	(2)大行司駅 ①概要 上から5～6行・・・東峰村役場宝珠山庁舎をはじめ、（東峰村立）村民センター、（東峰村）保健福祉センターいずみ館、（東峰村立）東峰学園、（東峰村立）美星保育所などの・・・ →（東峰村立）（東峰村）は不要では？	
	P11	②現状と課題 下から1～2行・・・旧宝珠山小学校グラウンドや大行司商店街との連携・・・ →「大行司商店街」を「味噌醸造所、造り酒屋等」に変更	
	P12	図：沿線の現状と課題（大行司駅） 「・旧小中学校校舎の老朽化 ・グラウンドの活用」の枠 矢印線が村民センターで止まっている→線をグラウンド中央まで伸ばす 大行司商店街の活用（活性化）→味噌醸造所、造り酒屋等の活用(活性化)	
	P19	(2)大行司駅 ①整備コンセプト 上から1行・・・周辺には商店や住宅地が広がっており、→周辺には住宅地が広がっており、	
	P19	②基本構想 上から2行・・・ホームの活用、商店街との連携等に取り組みながら→ホームの活用、味噌醸造所、造り酒屋等との連携に取り組みながら 【日常利用に資する整備】 駐車場、駐輪場の整備→広場、駐車場、駐輪場の整備 「進入道路の改良」を追加	
	P20	図：基本構想図（大行司駅）左上・枠の中 A.点・面の取り組み 【A-1】 駅前空間の整備と活用 □駐車場・駐輪場の整備→広場・駐車場・駐輪場の整備 【A-4】 商店街の活性化と新たな活用検討→新たな商店の整備と活用検討 □商店街との連携→味噌醸造所、造り酒屋等との連携 B.線の取り組み 【B-2】 国道へのアクセス向上 □出入口をわかりやすくする→出入口に案内看板等を整備 □「進入道路の改良」を追加 【B-3】 商店街の回遊性向上→「街並みの回遊性向上」「古い街並みの回遊性向上」「昭和の街並みの回遊性向上」、商店街と連携した回遊性の向上検討→味噌醸造所、造り酒屋等と連携した回遊性の向上検討 【B-4】 中心地への誘導と安全な歩行環境の創出 □歩道の設置→歩道の整備（駅から東峰学園まで） 図の中 A-5 旧小中学校の活用→矢印線が村民センターを指している 線の終点をグラウンド中央に移動する 【A-4】と【B-3】の標題を左上枠内の変更と同様にする	